

京都市では、各施設の運営がどのようになっているか、税金がどのように使われているかを市民の皆さまに分かりやすくお伝えする取組を行っています。

京都市桂授産園の運営について

当施設は、平成18年に開設し、一般企業への就職が困難な障がい者に就労機会を提供するとともに、生産活動を通じて、その知識と能力の向上に必要な訓練などを行っています。

当施設の収入と支出

<当事業所の利用者数>
 令和元年度 年間開所日 260日
 令和元年度 延べ利用者数 2,835人

<支出>

総額 0.44 億円

利用者 1 人当たりの運営経費 15,630円 (A)

人件費 11,960円	事業費 390円	事務費 680円	就労支援事業 2,350円	施設維持 修繕費 20円	その他 230円
----------------	-------------	-------------	------------------	--------------------	-------------

<収入>

総額 0.07 億円

利用者 1 人当たりの収入
2,610円 (B)

総額 0.37 億円

(A) - (B)

差額 13,020円 (83%)

就労支援 事業収入 2,340円 (15%)	その他収入 270円 (2%)
---------------------------------	-----------------------

市民の税金で負担 (公費で負担)

いずれも概数
10円単位で四捨五入

○ 国から支給される給付費と市民の負担 (公費負担) により、施設が運営されています。

施設の運営費は、利用者の負担 (施設使用料等) と公費負担 (市民の皆様にご負担いただく税金) などにより賄われています。

施設運営の現状について「見える化」を進め、施設の状況に応じた収支改善の取組 (維持管理コストの見直し、施設の目的を踏まえた稼働率の向上、受益者負担の適正化等) を進めてまいります。